



おおぞら小学校稲刈り体験学習

令和7年9月22日（月）、北三沢地区にて三沢市立おおぞら小学校による稲刈り体験学習が行われました。

5月に田植えを行った水田では黄金色に色付いた稲が一面に広がり、夏の暑さにも負けずにしっかりと実っていました。今年は前日に雨が降ってしまい、ほ場は水溜まりが残るぬかるみ状態でしたが、幸いにも当日は綺麗な秋晴れの下での稲刈りとなりました。

参加した児童たちは「稲はいっぱい、感謝もいっぱい」をスローガンに掲げ、配られた鎌で丁寧に稲刈りを行いました。



【開会式】



【高学年は稲刈り】



【低学年は稲を運ぶお手伝い】



【脱穀用コンバインまで運ぶ様子】



【きれいに刈り終わりました】

収穫した稲の一部はその場でコンバインによって脱穀されました。稲を次々に取り込み稲わらだけとなって外に出される様子を見て、児童たちは関心の声を上げていました。

一年を通して行われた水田での体験学習を経て、土に親しんで働くことの苦労や食べ物大切さが伝わったかと思います。これからお米を食べる時には水田学習で学んだことを思い出してもらえたら何よりです。



【脱穀した稲の排出口】



【5年生とJA職員の集合写真】



【脱穀した稲の袋詰めの様子】

袋がいっぱいになったら手を挙げてストップの合図をしてくださいと教わりましたが、ちょっとタイミングが遅くて稲がどわっと溢れてしまう。その場の全員が思わず笑ってしまった一幕でした。